

256年

正元三年 甘露元年（魏）

皇帝

曹髦（魏高貴郷公）

皇后

卞氏（父は卞隆）

皇太子

三公（魏）

太傅： 司馬孚（前太尉）

太尉：司馬孚 高柔（前司徒）

司徒：高柔 鄭沖（前司空）

司空：鄭沖 盧毓（前尚書左僕射）

その他の要職（魏）

?尚書事：司馬昭（大將軍）

太常：

光祿勳：

衛尉：

太僕：

廷尉：

大鴻臚：

宗正：

大司農：

少府：

大將軍：司馬昭（大都督を加号）

驃騎將軍：王昶

車騎將軍：？

衛將軍：胡遵（死去）

地方官

雍州刺史：王経

主な事件

- ▶ 甘露元年春正月辛丑、青龍が?縣の井戸の中に見られた。《三国志魏書三少帝紀高貴郷公髦》
- ▶ 正月乙巳、沛王の曹林が薨ず。《三国志魏書三少帝紀高貴郷公髦》
- ▶ 二月丙辰、帝は太極東堂で宴を開き、侍中荀顛、尚書の崔贊、袁亮、鍾毓、給事中中書令の虞松等と禮典を講述し、帝王の優劣之差について問うた。帝は夏の少康を慕っていた。《三国志魏書三少帝紀高貴郷公髦に引く魏氏春秋》
- ▶ 二月丁巳、曹髦は講義が終わってから侍中荀顛、尚書の袁亮等と議した。《三国志魏書三少帝紀高貴郷公髦に引く魏氏春秋》
- ▶ 夏四月庚戌、大將軍の司馬昭は?冕の服、赤?の副を賜う。《三国志魏書三少帝紀高貴郷公髦》
- ▶ 四月丙辰、帝は太學に詣で、諸儒に問うた。易博士の淳于俊が対して答えた。問答をし淳于俊が答えられないものもあった。易についての講義が終わって、また尚書に講義するよう命じて帝は問うた。博士の?峻が答え、問答となった。また礼記についても質問がされ、博士の馬照が答えた。《三国志魏書三少帝紀高貴郷公髦》。帝は常に中護軍の司馬望、侍中の王沈、散騎常侍の裴秀、?門侍郎の鍾會等と東堂で講宴し文論を戦わせた。裴秀を儒林丈人、王沈を文籍先生と呼び、司馬望、鍾會もまた各々名號があった。帝はせっかちで、お召しの際は速くと急かした。裴秀等は?職で問題なかったが、時に司馬望は外にあり、特別に追鋒車を与えた。虎賁卒五人が集會のたびに走り回った。《三国志魏書三少帝紀高貴郷公髦に引く傅暢の晉諸公贊》
- ▶ 正元三年五月、?及び上谷、上洛で並んで甘露が降ったと上表があった。《三国志魏書三少帝紀高貴郷公髦》
- ▶ 夏六月丙午、甘露と改元する《三国志魏書三少帝紀高貴郷公髦》
- ▶ 六月乙丑、青龍が元城県の井戸の中に見られた《三国志魏書三少帝紀高貴郷公髦》
- ▶ 秋七月己卯、衛將軍の胡遵が薨ず《三国志魏書三少帝紀高貴郷公髦》
- ▶ 七月癸未、安西將軍の鄧艾が蜀の姜維を上?に大いに破る。詔を出して大いに祝す《三国志魏書三少帝紀高貴郷公髦》
- ▶ 八月庚午、大將軍の司馬昭に大都督の号を加え、奏事不名を許し、假?鉞を与えた《三国志魏書三少帝紀高貴郷公髦》
- ▶ 八月癸酉、太尉の司馬孚を太傅と為す《三国志魏書三少帝紀高貴郷公髦》
- ▶ 九月、司徒の高柔を太尉と為す《三国志魏書三少帝紀高貴郷公髦》
- ▶ 冬十月、司空の鄭沖を司徒、尚書左僕射の盧毓を司空と為す《三国志魏書三少帝紀高貴郷公髦》

誕生者

死没者

- ▶ 胡遵（衛將軍）